

DuPont™ Tychem®

JIS T8115:2015 適合品

デュポン™ タイケム® 2000

品番：TC 198T YL

デュポン™ タイケム® 6000

品番：TF 198T GY

化学物質・化学薬品対応防護服

有害物や反応性化学物質または危険性のある液体に曝されている時は高いバリア性を有する化学防護服が必要です。**デュポン™ タイケム® 2000**または**デュポン™ タイケム® 6000**は有害物質による皮膚障害や経皮吸収による健康障害から作業者を守ります。

特長

- 軽量でありながら、**化学物質とバイオハザード双方に対応**できます。
- **優れた防護性**
社外のラボにおいて化学物質透過テストを行い、SafeSPEC™にてデータを提供しています。
- 難しい作業の時も**体にうまくフィットし動きやすく**デザインされています。
- 軽量で柔軟性があるので着用者は**快適に**作業に従事することが可能です。

用途

- 化学製造業
- 製薬業
- 石油化学産業
- タンククリーニング及び検査、メンテナンス
- 農業化学製品の取扱い
- 工場の解体作業
- 焼却炉の解体(ダイオキシン)
- PCB処理
- 汚染場所の除染作業
- 有害物質の廃棄作業
- 工業用クリーニング及びメンテナンス
- 軍事関連
- 緊急処理 — 流出物の処理及び事故処理
- 疾病及び災害対策
- 医療関連
- 消防(化学物質漏洩対応など)
- 警察(放射線汚染物質の処理、警備)...テロ対策等《放射線(外部被ばく)に対する防護性能はありません》



「DUPONT」
Tychem.

「DUPONT」
Tychem.

⚠ 廃棄について

タイケム®はタイベック®の生地を使用しております。タイベック®はポリエチレン100%の不織布であり構造上ハロゲンを含まないため、ポリ塩化ビニルと異なり、焼却してもダイオキシン及び有害ガスを一切発生しません。ただし、汚染された防護服衣料は汚染廃棄物と同じ方法で廃棄されるべきであり、必ず国及び各自治体の規則に従って処理してください。

⚠ ご注意

- 本情報は、デュポン社が信頼に足ると信じる技術資料に基づいたもので、新たに知識や経験が追加された場合には改定されます。
- デュポン社はこの情報に起因するいかなる結果に対する保証、義務、責任を負うものではありません。毒性レベルの決定や正しい個人防護具の選択は利用者の責任です。

タイケム® 2000・タイケム® 6000は、使い切り防護服です。

製品安全情報はリクエストベースでご提供します。

防護服の使用範囲は広範囲にわたっており、多くの分野では補助具(手袋、靴、呼吸用保護具)同様、特別な衣服の使用が要求されます。それらの衣服や補助具等の適切な組み合わせや選定は使用者ご自身の責任で行って下さい。タイケム® 2000・タイケム® 6000防護服は使い切りの防護服です。また、タイケム® 2000・タイケム® 6000防護服は耐熱性や防炎性はありません。火気や高温の近く、または爆発の危険性がある環境下でのご使用は避けて下さい。当社は不適切な使用に対して、いかなる責任も負いません。当社或いは当社代理店は、使用用途に適したタイプの防護服の選定をお手伝いいたします。

総輸入販売元

旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社

〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

URL <https://www.tyvek.co.jp/pap>

☎ 0120-300355 E-mail: Tyvek.Japan@dupont.com

デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、SM、及び®表示のあるすべての標章は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

Copyright © 2020 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co.,Ltd. All rights reserved.

化学物質・化学薬品対応防護服 JIS T8115:2015 適合品

デュポン™ タイケム® 2000 デュポン™ タイケム® 6000

デュポン™ タイケム® 2000・デュポン™ タイケム® 6000は
幅広い化学物質・化学薬品に対する防護を提供します。

- 1 防護性能をより高めるためのフラップ(粘着テープ付)
- 2 全面型マスクと良くフィットする伸縮性のあるフードとあごカバー(粘着テープ付)
- 3 防護性能を高めるための縫い目をふさぐテープ
- 4 良くフィットするために伸縮性をもたせた袖口と足先
- 5 身体に最適にフィットする伸縮性のあるウエストまわり



デュポン™ タイケム® 2000



デュポン™ タイケム® 6000



■色とサイズ

デュポン™ タイケム® 2000	黄色
デュポン™ タイケム® 6000	グレー

サイズ	胸囲	身長
S	~92	~170
M	92~100	168~176
L	100~108	174~182
XL	108~116	180~188
XXL	116~124	186~194

単位: cm

■JIS規格等による「防護タイプ」

タイプ3B* 	タイプ3** 	タイプ4** 	タイプ5** 	タイプ6** 	Electrostatic discharge if properly grounded** 	Protection against particulate radioactive contamination-EN1073-2**
生物学的防護用密閉服	液体防護用密閉服	スプレー防護用密閉服	浮遊固体粉じん防護用密閉服	ミスト防護用密閉服	静電気の帯電を防止(接地時)	放射性粉じんに対する防護性能

※DuPont pictograms
 ※*タイプ2000・タイプ6000に使用されている素材は静電防止処理がされEN1149-1に適合します。この静電防止処理は湿度25%以上の条件下で機能します。
 ※**放射線(外部被ばく)に対する防護性能はありません。EN1073-2に適合します。
 ※EN14126に適合します。

■バリア性

化学物質	デュポン™ タイケム® 2000	デュポン™ タイケム® 6000
化学物質	多くの高濃度無機化学物質	多くの有機化学物質および高濃度無機化学物質
バイオ・ハザード	デュポン™ タイケム® 2000	デュポン™ タイケム® 6000
	タイケム® 2000・タイケム® 6000 共、高い防護性能を要求する EN14126:2003 に適合	

■透過データの一例

製品のデータではなく、**タイケム**の生地に関するデータです。

試験法: EN369, ASTM F739, EN374-3, EN ISO 6529(method A and B) or ASTM D6978, 標準透過速度0.1µg/cm²/min, JIS T 8030と同等

デュポン™ タイケム® 2000			
化学薬品	相	CAS No.	破過時間(分)
塩酸(32%)	L	7647-01-0	240
硫酸(>95%)	L	7664-93-9	>480
発煙硫酸(30% 遊離SO ₃)	L	8014-95-7	82
硝酸(70%)	L	7697-37-2	>480
リン酸(85%)	L	7664-38-2	>480
フッ化水素酸(48%)	L	7664-39-3	17
過塩素酸(70%)	L	7601-90-3	>480
過酸化水素(50%)	L	7722-84-1	>480
水酸化ナトリウム(50%)	L	1310-73-2	>480
次亜塩素酸ナトリウム(15%)	L	7681-52-9	>480
クロム酸カリウム(飽和水溶液)	L	7789-00-6	>480
塩化水銀 II (飽和水溶液)	L	7487-94-7	>480
ホルムアルデヒド(10%)	L	50-00-0	>480

デュポン™ タイケム® 6000			
化学薬品	相	CAS No.	破過時間(分)
アセトン	L	67-64-1	>480
アセトニトリル	L	75-05-8	131
アニリン	L	62-53-3	>480
エチルエーテル	L	60-29-7	>480
塩化ビニル	G	75-01-4	>480
塩素	G	7782-50-5	>480
キシレン(混合物)	L	1330-20-7	>480
酢酸エチル	L	141-78-6	>480
水銀	L	7439-97-6	>480
スチレン	L	100-42-5	>480
トルエン	L	108-88-3	>480
フェノール(85%)	L	108-95-2	>480
n-ブタノール	L	71-36-3	>480
ベンゼン	L	71-43-2	>480
メタノール	L	67-56-1	117

◎相: 化学物質の状態 Lは液体、Gはガス CAS No.: 化学物質番号
 ※データは測定値であり保証値ではありません。
 ■参考: 記載されている透過データの数はカタログ発行時点のもので、最新のデータは、
<http://www.safespec.dupont.co.uk/safespec/chemical/en/search.html>において、CAS No.を用いて確認することができます。

■防護服の性能評価を決める「浸透」と「透過」

「JIS T8115」では、化学防護服の素材について、「浸透」試験と「透過」試験を行うよう定めている。
 「浸透性」とは、防護服の素材や防護服の小さな穴、隙間など、たとえば、縫い目やファスナー、素材の穴等を、液体の化学物質が非分子レベルで通過してしまうプロセスのこと。雨がガッパを着ているのに、雨が中にしみ込んでくる状態が「浸透」である。

「浸透」している状態は、目視で確認することができる。作業中に使用している液体化学薬品が防護服に付着し、防護服の内側に浸みて(=浸透して)しまうと、それが皮膚に付着して皮膚障害を起こす危険がある。

しかし、ここで化学薬品が浸透していない(=浸みていることが目視で確認されない場合)からといって、その防護服が安全とはいえない場合もある。それは、液体化学物質の場合、液体が気化した状態で防護服を通過している可能性があるからだ。これがもうひとつの評価である「透過性」である。

液体は気体へと変化する。つまり、液体は目視で確認できるが、気体は目で見ることができない。有害化学薬品が気体状態では、防護服の外側から内側に通過(=透過)していることに、着用者が気がつくのは難しい。通過(=透過)した気体は、皮膚に接触し、皮膚から体内の細胞へと吸収されたり、皮膚障害を引き起こす可能性がある。

とくに、有機系化学物質は透過速度が比較的高い。外見的に防護服の素材に劣化や欠陥がなくても、気体状態で容易に服内部に入り込んでしまう。また有

機系化学物質は、環境による影響を受けやすい。そのため、気温や湿度の高い夏場などは、気化が促進され、透過が速くなる傾向があるので、一層の注意が必要だろう。

こうした有害化学物質のばく露が長期間続くと、内臓疾患等の健康障害を引き起こす可能性があり、しかも本人の気がつかないところで進行していく点が怖いところである。防護服の素材に対する透過性試験は、事前に十分行う必要があり、そのためJISの「透過」試験が定められている。透過率が0.1µg/cm²/分に達するまでの時間を標準破過時間として分(分)で表し、1~6等級に分類される。つまり、使用する化学物質に対して、十分な破過時間を持つ防護服を選ぶことが大切なポイントである。より多くの化学物質の透過について、防護服の素材ごとに事前に試験しておくことは、作業者の安全につながる。米国デュポン社では300種類以上の化学物質に対する破過時間を測定し、ユーザーに対して適切な防護服と安全着用時間について、情報提供している。

透過のメカニズム

